【目次】

はじめに
シャンソン研究会代表　吉田正明
第 1 章　「民衆のシャンソニエ」ルイ・フェストーに関する一考察
本間千尋
第 2 章　19 世紀フランスの歌姫ポリーヌ・ヴィアルド
村田京子
第 3 章　街角の音楽師 — 19 世紀を中心に—
中村啓佑
第 4 章　フランスの子ども歌の誕生
吉田正明
第 5 章　子ども歌と小さな虫たち
金山富美
第 6 章　シャンソン「サクランボの実るころ」—Le temps des cerises —
三木原浩史
第 7 章　「シャ・ノワール」におけるシャンソンの担い手をめぐる諸問題
岡本夢子
第 8 章　マルグリット・モノの「シャンソン」—「シャンソン」の成立における芸術音楽の影響をめぐって—
樋口騰迪
第 9 章　バルバラ、父、そして母
高岡優希
第 10 章　バルバラの『ゲッティンゲン』（1965 年）—歌の成立をめぐる仏独交流—
中祢勝美
第 11 章　シャンソンの闇鍋 — 対訳の試み 12 篇—
戸板律子
あとがき
吉田正明